

## 写真でみる 50年のあゆみ ①



1975年「国連婦人の10年」運動が始まり、新しい男女平等の考え方が示されました。私たちは「国際婦人年をきっかけとして行動を起こす女たちの会」と51の女性団体に結成した「国際婦人年連絡会」に参加し、行動計画の実施を要求しました。



しかし同じ79年国連では「女性差別撤廃条約」が採択されました。私たちは「80権利とくらし、平和のための婦人集会」を開くなど要請行動をつづけ、総評婦人部は全国から動員して83年11月1日から2カ月にわたって労働省前座り込みを続けました。こうした女性の要求に押されて1985年、政府は条約批准のために「男女雇用機会均等法」を成立させましたが、たいへん不十分なものでした。



76年、田中寿美子参院議員を中心に「男女雇用平等法案」をつくり、何度も国会に提出しましたが、通すことはできませんでした。逆に日本政府は79年、保育と介護の第一義的責任は家庭にあるとする「家庭基盤充実構想」と「乳幼児保育基本法」を出してきました。

女性の働く権利と平等をめざして(中)